

【G3京成杯AH 好走傾向】

【血統傾向】

・母系に短距離向きのノーザンダンサー系や、
短距離向きのナスルーラ系(カロ系、ブラッシンググループ系)

・極端な消耗戦になると、サドラーズ系の血が活きる。
(今年は持続戦が濃厚)

・父か母父にディープ系、ハーツクライ

【脚質傾向】

近4年は3角を先頭で通過した馬が馬券に絡む先行有利な傾向。
22年・20年・19年は、3角を4番手以内で通過した馬が上位独占。

先行力のあるタイプを評価したいと思います。

【距離・コース実績】

- ・中山の1600m以上に実績がある馬
- ・1800mに実績がある馬

上記のいずれかに該当する馬は11頭が馬券絡み。

※2桁人気で激走した4頭は全て中山実績馬

以上の項目を評価対象として、
今年の出走馬を診断して参ります。

・注1番ミッキーブリランテ

父がディープ系ディープブリランテ。

母父にダンチヒの血。

昨年の当レースで12人気2着に激走。

脚質はバラバラで、馬のやる気次第といった印象ですが、

昨年は3角で先頭に立つ競馬。

いつ走るか予測不能な厄介なタイプですが

人気することは無いので買っておくべきでしょう。

・2番ソウルラッシュ

ルーラーシップ産駒は9月開催では実績が薄く、

母父マンハッタンカフェも9月開催では全く走りません。

ただし、本馬は曾祖母にカロの血を持っており、

時計の掛かる馬場になれば、中山マイルは得意条件です。

パンパンの良馬場まで回復すれば

消して妙味を求める作戦も一考すべきかと。

・×3番ミスニューヨーク

キングズベストとマンハッタンカフェの配合からは

時計の掛かる馬場の中山が最適だと思われます。

実績もそれを裏付けており、暮れの力が要る馬場で行われる

ターコイズSを連覇しており、9月開催の当レースでは

切れ負けして人気以下の着順(3人気4着)に敗れております。

万一、雨の影響が残るような馬場になれば

それなりの評価が必要になりますが、良馬場なら

3着候補の押さえで十分でしょう。

・注4番メイショウシンタケ

父がディープ系ワールドエースで、
母父にカロ系の血を持つ要注意配合馬です。

追込み脚質ですが、持続戦、消耗戦でメンバー上位の
末脚を発揮できるタイプで、レースのラップ傾向から、
ゴール前で追込んでくる可能性が高いと考えます。

問題は中山適性の有無ですが・・・

ワールドエース産駒は中山が苦手です。
しかし秋開催に限れば、非常に好走率が高く、
牝系ファミリーからも中山重賞巧者が3頭出ております。

・O5番インダストリア

リオンディーズ×ダービー好走サンデー系の配合は、
上位人気(5人気以内)であれば秋の中山マイルで良く走ります。

このレースでも、キングマンボ系×ハーツクライの配合馬
トロワゼトワルが連覇しており、血統に関しては
高い評価をすべきだと思います。

本馬自身、コース実績豊富であり、
中山マイルは3戦3勝を誇るコース巧者。
母の半兄バランスオブゲームは中山重賞で
5勝2着2回の中山巧者でした。

鞍上も含め、人気でも蹴りにくい存在です。

・×6番シャイニーロック

ペルシャザールとデインヒルの配合は、
秋開催の高速馬場では評価しづらい配合です。

ただ、逃げ馬が残りやすい傾向のレースであり、一応の押さえは必要ではないでしょうか。

・注7番グラニット

ダノンバラードはディープ系の中では重い馬場が得意な異色の種牡馬でございます。そして母父がニジンスキー系となれば、重い馬場が良さげ。ですが、高速馬場のG3サウジアラビアで逃げて2着に粘っており、血統イメージとは異なる適性を持っているのかも知れません。

同型のシャイニーロックとは、テンのスピードは同等ですが、ハンデ差が6キロもありますので、こちらが逃げる可能性も十分。

自分の得意な消耗戦に持ち込めれば、秋開催の軽い馬場で、サウジアラビア2着の再現も。

・×8番アスクコンナモンダ

ダイワメジャー産駒の秋開催中山マイル成績は複勝率31.3%/複回率111%と、中々の期待値ですが、牡馬に限定すると更に期待値が上がります。

20年の当レースで13人気3着に激走したボンセルヴィーソもダイワメジャーの牡馬でした。

ただ、ドイツ牝系で、母父がモンズンというのが、中山マイルとはイメージがズレる印象で、どちらかと言えば、直線が長いコースの方があっている印象でございますな。

ハンデ56キロも見込まれた印象で、前走3勝クラスからの昇級戦組には厳しい斤量でございましょう。

・◎9番ラインベック

ディープインパクト産駒で、
1800m実績と中山マイル実績を持っております。

安定して好位から競馬出来るタイプで、高速馬場も得意。

当コースOPL東風Sで負かしたゾンニッヒが、
その次走のG3ダービー卿CTで3着に好走している事からも、
当コースの重賞で通用する能力があると考えられ、
馬場が軽い秋開催なら、東風S以上のパフォーマンスも
期待出来そうだと考えます。

・10番ウイングレイテスト

スクリーンヒーロー産駒は、年末年始の中山で買いたい血統。

秋開催の中山マイルは下級条件限定血統であり、
2勝クラス以上の上級条件で馬券に絡んだ馬はおりません。

・11番トーセンローリエ

サトノクラウンとメイショウサムソン(サドラーズ系)の配合馬。
馬場がタフになる冬の中山で買いたいと思っております。